

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月12日

【評価実施概要】

事業所番号	0770401495		
法人名	有限会社 そら		
事業所名	大地の家		
所在地	福島県いわき市四倉町字西三丁目12番地の15 (電話)0246-32-6011		
評価機関名	福島県社会福祉協議会		
所在地	福島県福島市渡利七社宮111		
訪問調査日	H20.10.28	評価確定日	H20.11.25

【情報提供票より】(20年10月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 10月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	6 人	常勤 6人, 非常勤	人, 常勤換算4.5人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り		
	2 階建ての	1~2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,500 円	

(4) 利用者の概要(10月15日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名
要介護3	4 名	要介護4	
要介護5	1 名	要支援2	
年齢	平均 83 歳	最低 75 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 菅波病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は商店や住宅が立ち並ぶ街の中にあり、そこにとけこんでいる。浜に近いこともあり、エアコンを設置せず海からの自然な風を大切にするなど、利用者の生活に関する管理者のこだわりが感じられる。利用者は比較的自立度が高く、趣味や特技、長年行ってきた仕事などを活かした活動を入居後も生活の中で継続している方が多い。立地条件を活かし、毎日数名散歩がてらに食材を買いに出かけるなど、利用者の日々の生活を豊かなものにする取り組みを行っている。管理者が事業所経営法人の一員でもあり、事業所開設以来勤務しているため継続的な利用者支援やホーム運営がなされている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の外部評価で課題となった「職員の退職や異動などが早く正確に家族へ伝わるよう事業所の新聞を活用すること」については、予定通り新聞が発行できない状況である。「参加した研修の復命書や資料をその後活かせるように整理すること」「防災対策について、運営推進会議へ消防関係者を委員として参加して頂き地域の協力が得られる様に働きかけること」については、取り組みが進んでいない状況である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 計画作成担当者が自己評価を行ったものを職員全員で協議してまとめた。又、その過程を通して外部評価の意義と評価を行なう重要性について理解した。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5) 利用者のサービス向上に直接関係しない議題の場合もあつたり、議題により出席者を変えていることもあり、運営推進会議委員の会議出席率が低くなっている。そのため、前回の外部評価の改善課題について、運営推進会議において意見交換が十分行われておらず、運営推進会議を活かした取り組みが課題である。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 利用料の支払いを直接事業所に来て行うことにしているため、家族は月1回以上事業所を訪問するようになっているおり、その際意見や苦情などを伺うようにしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の行事、小・中・高校の運動会や文化祭に利用者が参加しており、地域との交流をするように努めている。又、日常的に散歩や買い物に出かけており、地域の一員として交流を持っている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域でのその人らしく暮らすための理念として、事業所の開所に際して社長が作り上げた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所の壁に理念が張り出されている他、職員採用時に理念の意味を説明するとともに、ミーティング時にも読みあげるなどして理念を共有し、その実践に取り組んでいる。		
<b>2.地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事、小・中学校の運動会や文化祭に利用者が参加しており、地域の人々と交流することに努めている。		
<b>3.理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	計画作成担当者が自己評価を行ったものを、職員全員で協議しまとめた。また、その過程を通して外部評価を実施する意義を理解しているが、今回の取り組みを期待したい内容が、前回の外部評価と同じになっている。	○	外部評価の結果を受けて、目標を持って計画的に改善に努めてほしい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	議題により出席者を変えていることもあり、運営推進会議委員の会議出席率が低くなっている。そのため、前回の外部評価の改善課題について、運営推進会議において意見交換が十分行われておらず、運営推進会議を活かした取り組みが課題である。	○	運営推進会議の委員を固定するとともに、年間の議題を前もって決めておくなどの工夫をしてほしい。また、外部評価の結果について委員から意見をいただき、よりよい運営にその意見を活かしてほしい。
6	9				
<b>4.理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月家族向けの新聞を発行していたが、半年前から不定期の発行になっている。現在は、家族が来所した時に金銭管理や利用者の暮らしぶりを報告している。	○	利用者の事業所での生活状況や職員の異動等を家族へ定期的に知らせるためにも、定期的に新聞を発行してほしい。さらに、利用者ごとに1ヶ月の暮らしぶりを手紙に書いて家族へ報告をする取り組みもしてほしい。
8	15	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用料の支払いを直接事業所に来て行うことにしているため、家族は月1回以上事業所を訪問するようになっているおり、その際意見や苦情などを伺うようにしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内での異動と離職者、新規採用者が数名いたが、管理者が新規採用者を利用者へ紹介し、利用者への影響を少なくするよう配慮している。	○	馴染みの職員の離職は、利用者に様々な影響があることを考慮し、離職を少なくする対策を検討して欲しい。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5.人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修は、毎月末に法人内の他の事業所と合同で実施している。外部研修へ職員が参加した後は、事業所内で報告し研修で学んだ内容を共有しているものの、研修資料を閲覧できるように整理されていない。また、職員への段階に応じた計画的な育成は不十分である。	○	主に外部研修参加後の報告書や研修資料をファイリングし、いつでも職員が閲覧できる様にしてほしい。また、新人・中堅・リーダーなど職員の段階に応じた育成を計画的に行い、さらに介護に関する知識と技術の向上に努めてほしい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	いわき市グループホーム連絡協議会による研修や交流会に管理者や職員が参加しており、職員が地域の同業者と交流ができる機会を設けるようにしている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)			
<b>2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員が利用者から魚のさばき方を習ったり、日々の生活の中で利用者が長い生活経験の中で身につけた技術を教わるなど、共に支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者に七夕の短冊に希望を書いていただくなど、生活の様々な場面で利用者の希望や意向を把握できるようにしている。把握した意向は経過記録に記録し、出来る限り実現できるように努めている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	課題の把握や介護実施状況の評価を職員全員が話し合い、介護計画を作成している。また、家族が事業所に訪れた際に話し合いを持ち、介護計画に反映するようにしている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に行うミーティングにて話し合い、介護計画の見直しを検討している。利用者に大きな変化があった場合には、関係者にて話し合いを行い、新たな介護計画を作成している。		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)	/	/	/

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に受診する医療機関の希望を聞いており、かかりつけ医又は事業所の協力医に受診する際は、事業所において受診の対応をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の対応の指針を書面にし、入居時に家族へ説明する他、利用者に変化があるたびに家族やかかりつけ医と話し合いを持ち、方針を共有するようにしている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員には、採用時に秘密保持誓約書に署名してもらっている。又、勉強会やミーティング時に個人情報保護について確認を行っている。個人情報保護やプライバシーを損ねない対応に関する職員向けの資料の作成が課題となっている。	○	個人情報保護規程や利用者のプライバシーを損ねない対応に関する資料を作成し、さらに職員が留意すべき内容の共通認識が出来るように取り組んでほしい。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の多彩な過ごし方のメニューを用意するとともに、買い物や散歩、趣味のなど利用者一人ひとりの状態や気持ちに配慮しながら支援するようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の散歩がてら買い物を行うとともに、冷蔵庫の中の食材をもとに利用者と相談して献立を決めている。利用者と職員と一緒に調理し、配膳や片付けも一緒に行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴日や時間は決めているが、利用者のその日のそれぞれの状態に合わせて柔軟に入浴ができるよう対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	趣味や得意なことを行って、日々の生活が楽しめる様支援している。また、年1回の外泊旅行や月1回のドライブなどのイベント、地域の行事への参加など生活に張り合いが持てる様にしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	日常的に散歩、買い物、ドライブなどに出かけられるよう支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中鍵をかけない介護が普通になっており、利用者が外へ出かける際にはさりげない声かけを行い職員も付き添うようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練は毎月実施している。避難場所として近所の神社駐車場を確保している。地域住民へ災害時に協力を得られるよう働きかけはしていない。</p>	○	<p>災害時に地域住民に協力が得られるよう、運営推進会議を活用して地域住民に働きかけてほしい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者ごとの食事や水分の摂取状況は記録し、利用者個々に必要な量の確認を行っている。又、栄養面などは法人内別事業所の栄養士に助言をもらっている。</p>		
<b>2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>民家風な空間を工夫し、落ち着いて過ごせる様にしている。又、自然の風や中庭からの淡い光を上手に利用し、利用者にとって居心地の良い共有空間となる様配慮している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には筆筒やベッドなど利用者が自宅で使用していた使い慣れた物を積極的に持ち込んでいただき、落ち着いて過ごせる様工夫している。</p>		

 は、重点項目。



### 3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 大地の家

記入担当者名 上面 雅一

評価結果に対する事業所の意見
特になし

#### 評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。